東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2213回例会　2012.5.10

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
石山例会運営委員長

■点鐘：小町会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「我らの生業」

◆ソングリーダー：
荻野会員

■お客様紹介：
野澤パスト会長

◆ゲスト：
米山奨学生　朴動浩様

■会長報告　小町会長

5月5日より昨日9日まで、バンコク国際大会に東京武蔵村山ＲＣ8名、東京東大和ＲＣ4名、そして我クラブよりご婦人5名を含め15名、総勢27名のメンバーで天候に恵まれ、楽しく参加してまいりました。次週に報告がありますので楽しみにして下さい。
ジャパンナイトの壇上で2012～13年度、国際ロータリー会長の田中作次様より会員数の減少について、「会員自身がロータリーを楽しいんでないと増強は難しいです。」この言葉が私には印象に残りました。
4月28日、市民功労表彰式で善行功労（青少年健全育成、国体推進のための寄付）として表彰状と青銅文鎮頂いてきました。奉仕を通じて平和の実践になりました。
本日11時30分より5月度理事・役員会が開催されました。

■幹事報告　野村幹事

■ガバナー事務所：
・2012-13年度地区賦課金に関して

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木　盛一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　　FAX　042-395-1166

地区運営費・事業費：半年毎に7000円
ガバナー月信購読料：半年毎に360円
青少年交換プログラム資金：半年毎に1500円

・日台ロータリー親善会議参加のお願いについて
(再送)6月1日　　於　ホテルグランヴィア京都
〆切　5月10日

・アンケートの協力依頼について
①地区運営アンケート→会長
②地区クラブ奉仕委員会「卓話者リスト」アンケート
〆切5月31日まで

・「地区納めの会」案内の受理
2012年6月29日(金)　18:30～
於　帝国ホテル

・2012年～13年度　第49回インターアクト年次大会開催の案内
2012年8月5日(日)　10:00～
於　ホテル・ロイヤル・オリオン(那覇市)

■ロータリー財団委員会：
・2012-13年度ロータリー財団補助金奨学生
地区最終選考面接試験結果のお知らせについて
広沢智紀君　合格！
(広沢さんからメッセージあり)

・ロータリー財団奨学生(広沢智紀君)カウンセラー推薦のお願いについて
5月25日(金)までにカウンセラー推薦のこと

・ロータリー財団地域セミナー開催のお知らせについて
2012年7月2日(月)　　セミナー 9:00～
於　グランドプリンス高輪

■米山奨学会：
会長エレクト・次期クラブ米山委員長セミナーの案内について
2012年6月6日(水)　15:30～
於　ハイアットリージェンシー東京

■オン・ツー・リスボン委員会：
地区オン･ツー･リスボン委員会開催の案内について
2012年5月28日(月)　16:30～
於　椿山荘

■東京東大和ＲＣ：
①創立40周年式典における来賓祝辞依頼
②訃報　元会員 網干正裕様
4月28日永眠・密葬とのこと
後日学園葬を執り行う予定

■心の東京革命：
第8回東京こども応援協議会総会の案内について
2012年6月1日(金)　13:45～
於　都庁第一本庁舎

■東京小平ＲＣ：
例会場および事務局住所変更のお知らせ
例会場：〒187-0043 東京都小平市学園東町1-4-37
りそな銀行小平支店内2F
2012年5月14日より変更
事務局住所：187-0045 東京都小平市学園西町2-13-33
コスモ一橋学園ビル4F
2012年5月10日(木)より変更

■唱和

第11章　例会で多くの人と職業上の理解を深める事は職業奉仕だ

■出席報告　相羽例会運営副委員長

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
33	27	0	4	87.10

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
■前々回出席率メークアップ修正後：93.75%
■前々会メークアップ者：
相羽会員：観音寺東ＲＣ
飯田会員：京都西ＲＣ
樺澤会員：地区協議会
野崎会員：地区米山委員会
田中会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　島田良親例会運営委員

■皆出席：
金子会員(11回目)

■会員誕生祝月：
山本会員

■令夫人誕生祝月：
荻野会員

■ご結婚祝月：
野澤会員、樺澤会員
相羽会員

◆小町会長、野村幹事：
バンコク国際大会、大変ご苦労様でした。無事全員事故も無く帰国致しました。

◆山本会員：タイのバンコク国際大会おつかれさまでした。体調はいかがですか？ 来年はリスボンです。よろしくお願いします。

◆樺澤会員：バンコク国際大会では、戸澤委員長はじめ皆様には大変お世話になりました。楽しい旅でした。

◆野澤会員：バンコク国際大会、無事帰れました。家内と二人お世話になりました。

◆田中会員：6月1日ＦＲＣゴルフ大会は15名と大勢参加頂きましてありがとうございました。

◆戸澤会員：オンツーバンコク、27名無事に行って来ました。暑かったけど料理が美味しかったです。

本日のニコニコ合計：　36,000円
累　　計　：1,086,322円

■奨学金贈呈

■米山奨学生
朴　動浩 様

■委員長報告

■中丸クラブ奉仕委員長

皆さんこんにちは。5分しか時間がないという事なので、早めにお話させて頂きます。
今日、皆様方のメールボックスに私の会長方針という事で1枚の紙を入れさせて頂きました。これをもとに炉辺会合で各委員会から活動予定等を発表させて頂きたいと思っております。実りある楽しい炉辺会合にしたいと思いますので、皆様宜しくお願い致します。私からは以上です。どうもありがとうございました。

■赤木クラブ管理委員長

皆さんこんにちは。それでは急ぎ足でお話致します。まず第1点目ですが、6月14日～15日のクラブの親睦旅行を一つ宜しくお願い致します。それから2点目ですが、先ほど会長の方からお話がありました通り、野澤会員のゴルフのホールインワンのお祝いを6月11日の月曜日に6時半より、たきびさんにおいて行いたいと思います。
それから7月10日に青梅ゴルフにおきまして、コンペを行いたいと思います。同日に令夫人のゴルフ同好会の発足の記念としまして、同好会の令夫人と一緒にゴルフのコンペを行いたいと思いますので、宜しくお願い致します。これにつきましては、後ほど回覧致しますので、参加の方宜しくお願い致します。
また、3点目と致しまして、炉辺会合の件なのですが、先日お配り致しました炉辺会合の予定で、5月16日水曜日の会場がたきびさんとなっておりましたが、会場の都合によりまして野口町のあづまに変更致しましたので、当日該当する会員の方はお間違えのないように宜しくお願い致します。以上です。

■町田会員研修委員長

皆さんこんにちは。皆さんのお手元にあるロータリーの友の説明、これは例会をきちんとやれという事でございます。本日のお勧めというか心に留まったページがございます。横開きの30ページなのですが、米山記念奨学生の朱　美善さん。福島県のいわき市の東日本国際大学に留学中でございます。思いがけず東日本大震災と原子力発電の事故に遭われまして、一時2ヶ月ほど帰国したのですが、最初は卒業式を終えて単位だけ取り終えたら福島を去るつもりだったのですが、この4月から本当の福島の姿を世界の人に発信したいという心境になったという事で、福島放送局に就職が決まったそうでございます。そんな心境が載っております。これを見まして、果たして当クラブが、そして私自身が、東日本大震災に対して何をしたのかなと考えさせられるページでございます。
それからもう一つ、横開きの36ページでございます。国際ロータリー戦略計画というページがございます。これはあまり聞きなれない事でございますけれども、基本的な部分はここに書いてございます。説明する時間も今日はないようなので、読んで頂いてロータリー戦略計画を認識して頂けたら幸いでございます。以上で終わります。

■山本地区オン・ツー・バンコク委員

皆さん改めましてこんにちは。オンツーバンコク5日間お疲れ様でございました。私の方も20年ぶりにベネトンの派手なスーツを着て28名の皆さんが迷子にならないように歩きましたが、うちの娘に思いっきり笑われました。それから一つお詫びがございます。2580地区のジャパンナイト。今回皆さん期待して来て頂いたと思いますが、意外と想像以上に他地区の方の来訪者が多く、私達2580地区のメンバーが入った時にはすでに満席という状態でしたので、十分に楽しむ事が出来なかったと思います。地区の方が今回初めてで配慮が足りなかったので、その点お詫びしたいと思います。色々ご迷惑おかけ致しました。ありがとうございました。

■卓話

■漆原ロータリー財団委員長

ロータリー財団月間に因んで

こんにちは。ロータリー財団月刊に因んでということですが、私自身がまだあまり財団の意味が良く分らないものですから、レジュメに書いて整理してきたのですが、自分もおさらいするという意味で、皆さんにロータリー財団の説明をしていきたいと思いますので、お聴き下さい。
まず、ロータリー財団とは、「ロータリアンからの寄付を原資として、ロータリーが果たすべき、種々の人道的、教育的奉仕活動を行う組織であり、ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることである。」ということです。財団の特徴としまして、ロータリー財団への寄付は、全てロータリーの奉仕活動に利用され、資金の流れが明解でございます。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、ということで、先ほど説明した通りの財団の使命となっております。ロータリー財団の資金の流れを少し説明させて頂きます。財団への寄付は、ロータリーの奉仕活動に利用されている、またこの資金の流れは明解であり、いつでも検証が可能であります。年次寄付は3年間据え置かれた後に、恒久基金への寄付はその運用収益が財団活動資金として利用されています。財団の運営費は全て年次寄付の運用収益のみでまかなわれているということです。財団の活動資金としまして、ＤＤＦ(地区財団活動資金)とＷＦ(国際財団活動資金)とがありまして、地区の活動資金の50％がＤＤＦとして地区に還元され、グローバル補助金や新地区補助金として使用されます。そして、残りの財団活動資金の50％はＷＦとして、全ロータリー地区が利用できる世界的なプログラムやその他試験的なプログラムに使用されることになっております。
続きまして、ロータリー財団の未来の夢計画についてお話しさせて頂きます。まず、ロータリー財団が2017年に創立100年を迎えることを踏まえて、財団が奉仕の第2世紀に移行するための計画ということで、夢計画が出来ました。ロータリー財団の未来の夢計画としまして、2008年6月にＲＩ理事会にて承認された全ての財団プログラムと運営を簡素化するための計画、ＤＤＦを「グローバル補助金」と「新地区補助金」の2種類の補助金に分けて支給するという新補助金制度を導入する、2010年7月より開始し、3年間の試験期間を経て2013～14年度より全ての地区で実施されるということです。夢計画の目的としまして、財団の使命に沿ってプログラムと運営を簡素化すること、ロータリアンにとって関連性のある世界の主要なニーズに取り組むことによって最大の成果が獲得できる奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、決定権をさらに地区に移行することによって地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めること、ロータリー財団の計画に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めることとなっております。
グローバル補助金についてお話し致します。グローバル補助金としまして、長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するもの、6つの重点分野における規模の大きいプロジェクトに資金を提供する、プロジェクトの予算は最低3万ドルで、海外の被支援国パイロット地区あるいはパイロット地区内ロータリークラブと共同で提案する、ポリオ・プラスへの寄付、あとロータリー平和フェローシップへの寄贈を含めてＤＤＦの最低50％以上が利用できる、となっております。先ほど申しました6つの重点分野としまして、ロータリアンにより特定された世界の優先的なニーズであり、持続的かつ測定可能な影響を与えるために、財団が資源を集中して注ぐ以下の重点分野は、9年ごとに見直されることとなっています。まず、善意と平和として①平和と紛争防止／解決、教育として②基本的教育と識字率向上、貧困の緩和として③経済と地域社会の発展、健康として④疾病予防と治療、⑤水と衛生設備、⑥母子の健康、となっております。グローバル補助金の種類として、パッケージ・グラントとクラブ＆地区計画補助金というのがあります。
また、新地区補助金というものがありまして、クラブと地区が特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むことを可能にする補助金です。「ロータリー財団の使命」に沿った奉仕活動が基準となり、ロータリアンの直接参加が求められます。地区が一括して申請し、各クラブに分配するこの補助金は、昨年度までの地区補助金をモデルとしており、地区はＤＤＦの最高50％までを地区の裁量によりこれらの補助金プロジェクトに充てることができるとなっております。新地区補助金で調達できることは、人道的プロジェクト、地区が承認した海外旅行の費用

と奉仕プロジェクト、職業研修・交換・チームの費用、あとは奨学金、それと他国で教鞭を執る教育者への補助金、地元と海外でのプロジェクトと活動、ロータリークラブのない国のプロジェクトとその市民を支援する活動、インフラ(社会基盤)の建設は次のものに限られる、ということでトイレ、下水道とあります。そんな感じで皆さんの補助金が使われるようになっております。なお、新地区補助金の奨学金としましては、海外、国内、大学、大学院の修学に対して地区財団活動資金(ＤＤＦ)から支給されるようになっております。新地区補助金の要点としましては、人道的活動、教育的活動を支援する、あとロータリー財団の使命に沿った社会奉仕活動、地域または海外のプロジェクトや活動、ロータリアンの直接参加を含むこと等が書いてあります。
ロータリー財団の寄付の種類を説明します。財団への寄付は年次寄付、これは3年間据え置き、財団活動資金として使途される、運用益は財団運営費ということで、毎年100ドルを皆さんにお願いしている寄付です。恒久基金は、元金は積立て、運用益のみを使用する基金です。あとポリオ撲滅募金など色々とありますので、ぜひ一つロータリー財団のご理解を宜しくお願いします。最後に、ここに書いてありますが、誠意をもって基金を管理し、世界中の何百万もの人々に希望を与えているという事実を考えると、ロータリー財団へ寄付することは喜びであり、栄誉なことだと感じます。一度寄付をするともっと与えないと、という気持ちが湧いてくるのです。毎年みなさんの100ドルは、生涯を通じて続けていくものです。説明不足ですが、ぜひ皆さんにロータリー財団に関心をもって頂きまして、皆さんいつも夜５時過ぎに一生懸命クラブ活動をしていると思いますが、昼間の方もロータリアンの活動を一つお願いして終わりにしたいと思います。

■地区協議会報告

■司会：
次年度赤木クラブ
管理委員長

■次年度野村(裕)
新世代奉仕副委員長

こんにちは。私は新世代奉仕部門の協議会に参加致しました。次年度委員長が飯田会員ですが、その代理として参加させて頂きました。まずその内容でございますけれども、まずカウンセラーの挨拶から始まるわけですけれども、この部門のカウンセラーは水野ガバナーなのですが、その水野ガバナーが不参加だった為、代わりに地区副幹事の東京お茶の水ロータリークラブの俣野さんが挨拶をしまして、それで始まりました。
まず委員長の基本方針は、東京板橋セントラルロータリークラブの茂木正光さんから説明がありました。2010年五大奉仕として加わった新世代奉仕の定義そして活動範囲について説明がありました。いずれにしましても、この活動は各クラブごとに歴史それから地域性、人数、予算等色々変わりますので、クラブにあった具体的活動を進めて下さいというお話でございました。
地区新世代奉仕委員会の役割としましては、次の3つの説明がありました。
①地区のインターアクト、ローターアクト、青少年交換各委員会のサポートと各委員会間の情報共有と連携を図る
②各クラブへ情報を発信して、情報共有を図る
9月は新世代奉仕月間なので卓話に呼んで下さいとの事でした。
③インターアクト、ローターアクト活動を提唱しているクラブ以外に知ってもらう活動をしていきたい
これに従いまして、各委員会から説明があったのですが、まずインターアクトという事で東京東江戸川ロータリークラブの岡村さんの基本方針ですけれども、ご本人自身が愛国学園インターアクトをスポンサーしているということで、地区内活動クラブとして在京6校、沖縄5校があるというお話がありました。それからローターアクト委員会の基本方針として、東京江戸川ロータリークラブの増田さんより説明がございました。地区内7クラブ約80名が現在活動中であり、次次年度全国ローターアクト研修会東京沖縄大会の周知とローターアクト活動の理解を深めてもらうために卓話に呼んで下さいというお話がありました。
それから最後は青少年交換委員会からの基本方針としまして、祖父江さんより説明がありました。これは委員会には輝かしい歴史がありながらも、会員の減少と高齢化によって活動が岐路に立たされているが止める訳にはいかないので、身の丈の活動を知恵を出し合ってやっていきたいと説明があり、2012年夏の来日学生は10名ですというお話でございました。
最後に茂木委員長からのまとめとして、いずれにしろ各クラブの実態に合わせて進めて下さい。地区委員会は側面支援致しますという事で委員会が終わりました。
以上です。

■次年度村田
ロータリー財団委員長

まず、最初にパストガバナーの古宮委員長から、ロータリー財団とは、「ロータリアンからの寄付を原資として、ロータリーが果たすべき、種々の人道的、教育的奉仕活動を行う組織であり、ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることである。」と開会の辞として説明がありました。
引き続いて、パワーポイントを用いて、各担当の小委員長からロータリー財団の概況、「未来の夢計画」新補助金制度、2012年-2013年度補助金支援基準、ロータリー財団への寄付などについて、時間が少なく、大車輪

で説明がありましたが、殆ど目新しいことはありませんでした。今までロータリー財団委員会としては、「毎年あなたも100ドルを」の標語に表されるように、年次寄付、恒久寄付、ポリオプラス基金などを皆様にお願いする役割と、奨学生のお世話が主な担当でした。
その中で、特に次年度に委員会として留意することとしては、次年度まで試験期間であった未来の夢計画が、2013-2014年度から完全実施されることになり、次年度委員会としては、国際奉仕委員会と次年度内に2013-2014年の国際奉仕プロジェクトの検討・相談をし、また、社会奉仕委員会と2013-2014年の社会奉仕プロジェクトの検討・相談をして、必要ならば、ロータリー財団グローバル補助金、ロータリー財団新地区補助金の申請を行うことです。
また、この7月には財団地域セミナー、財団地区セミナーの二回のセミナーが計画されており、さらに、12月には財団地区セミナーが開催される予定となっております。この12月の財団地区セミナーには会長も参加されることを要望されるようです、
以上雑朴ですが、地区協議会のロータリー財団部門の報告とさせて戴きます。

■次年度目時米山奨学会委員長　米山奨学部門

皆さんこんにちは。時間がありませんので1分で終わらせたいと思います。米山委員会の方は、野崎一重さんが次年度の地区の副委員長ですので、野崎さんの司会の元に行われました。そしてカウンセラーに浅川さん。協議会の内容としましては、4つありまして、まずロータリー米山奨学記念事業についてという事で、ＤＶＤを頂いてまいりました。米山委員会はＤＶＤがこんなに6種類も出ています。無料ですので、事務局の方から取り寄せて地区に時間があった時に見て頂く事に致します。内容は、米山奨学記念事業と寄附金の状況について細かく説明がありました。続きまして、中国の米山奨学生の卓話を約20分行いました。それと次は、米山委員長の役割と次年度米山奨学委員会の方針という事で、約30分会議が行われました。以上ですが、その中で一番興味深かった事は、米山奨学生はほとんど中国、韓国、東南アジアからなのです。アメリカとかヨーロッパはほとんどいらっしゃらない。という事は、現実は経済と一緒で、日本に行って学ぶ事はないというぐらいアメリカとヨーロッパの米山委員会に拒否されているという事です。ですから、大半が中国、韓国、東南アジア系ばかりで、今後アメリカやヨーロッパからは非常に難しいというお話がありました。
それと6日に地区の委員長会議がありますので、会長と次年度会長と一緒に行ってきます。宜しくお願い致します。またその都度何かあったらご報告致します。以上です。

■次年度戸澤地区オン・ツー・リスボン委員長
国際奉仕オン・ツー・リスボン部門

皆さんこんにちは。あまり時間がないのですが、次年度オンツーリスボン、私は委員かなと思いましたら、委員長という事で大変な事になりました。やっとバンコクが終わってホッとしたところで、すぐオンツーリスボンの話になり、今月の28日に第1回目のオンツーリスボンの運営委員会を行うのですが、簡単に言うと皆でリスボンに行きましょうという事です。地区の委員会の委員長のもと、オンツーリスボンは私が委員長で、副委員長が山本さん、あと9名の合計12名で委員会が出来たのですが、非常に活発な人もいますので、各クラブに宣伝してくれると思います。ちょっとポルトガルまで遠く、また直行便がないのですが、私が委員長ですので、是非皆さん一緒に行きましょう。そして、今後の予定に私が卓話と記載されておりますが、これは国際奉仕委員長としての卓話です。東日本大震災の義援隊が作ったビデオがあるのですが、それをロータリー向けに米山奨学生が編集したビデオを上映してコメントさせて頂きたいと思います。以上です。

■第11回(5月度)理事・役員会

2012年5月10日(水)　11:30～12:00
於　八坂神社社務所内

■5月度の収支明細報告について
金子会計より報告があり、報告の通り承認されました。

■その他事項
・インターアクト年次大会登録料につき未提唱クラブとして3万円拠出承認
・5月26・27日ローターアクト年次大会(沖縄)へ野村幹事出席の為登録料　8,000円支出承認。
・東大和ＲＣ40周年式典参加につき全員登録だが3名分の登録料が未収の為、再度請求書を発送するものとする。
・野澤会員の私的コンペにてホールインワン達成。
当クラブ会員として、お祝いする為クラブ管理委員会が中心となって親睦の会を開催予定。その後野澤会員主催の記念コンペも開催予定。後日、案内をします。
・当クラブ会員令夫人達のゴルフ同好会発足承認。

■次回の理事会は平成24年6月6日(水)
於 たきび　18:30～

■点鐘：小町会長